

# 新設中学校における校歌作詞作曲に関する実践的研究

## —全校生徒が主役になれる校歌—

平井 李枝

宇都宮大学共同教育学部教育実践紀要 第9号 別刷

2022年8月31日



# 新設中学校における校歌作詞作曲に関する実践的研究<sup>†</sup>

## —全校生徒が主役になれる校歌—

平井 李枝\*

宇都宮大学共同教育学部\*

本論文は、2019年4月1日に新規開校した新潟県村上市立<sup>かみはやし</sup>神林中学校の校歌作詞作曲に関する実践的研究である。全校生徒が主役になれる混声合唱の校歌を目指して制作した。校歌が誕生するまでの過程を振り返りながら、大好評を得た校歌の作曲法とその効果について論じた。

キーワード：校歌、合唱、作詞作曲、混声合唱、中学校、新潟県村上市

### 1. はじめに

本論文は、中学校の校歌の作詞作曲の方法について、筆者の実践を通して論じるものである。

2019年4月に新規開校した新潟県村上市立神林(かみはやし)中学校の校歌は筆者(平井李枝)が作詞作曲したものである。校歌は学校の象徴的存在として、日常的に歌唱されるものであり、学校の伝統として受け継がれている。中学校の校歌の作曲は、小学校よりも高度な歌唱が可能であり、混声合唱としての完成度も求められる。神林中学校の校歌は、全校生徒が楽しく歌いながら主役になれる楽曲を目指して制作した。

本論文では、校歌の制作、発表に至るまでの過程を筆者と村上市の小中学生との関りなどから振り返りながら、校歌の制作に関する新しい試みとその効果について論じることにする。

### 2. 筆者と村上市の縁

筆者は文化庁芸術家として、これまで数多くの小中学校において芸術鑑賞コンサートの開催や学校行事等における音楽活動の指導や支援などに関わってきた。新潟県村上市との縁は2012年に遡る。

2012年、村上市立猿沢小学校長 渡邊正夫先生から翌年の創立140周年記念行事としてピアノ・ソプラノコンサートの開催を依頼された。偶然にも猿沢小学校の校歌は、サトウハチロー作詞、平井康三郎作曲の校歌であり、筆者の祖父が作曲している。そこで、子どもたちとの合唱協演も行うことにした。

2013年10月19日(土)新潟県村上市総合文化会館大ホールで村上市長、副市長、国会議員、市議会議員、市議会議員等多数の来賓ご臨席のもと、猿沢小学校創立140周年記念「Dr.りえのおしゃれなクラシック」(文化庁事業)を開催した。会場となった総合文化会館大ホールにはスタインウェイ社のフルコンサートグランドピアノが設置されており、良い響きを堪能できる演奏会となった。

クラシック音楽の名曲に加え、校歌の作詞者、作曲者の作品も多数披露し、子供たちと記念の合唱を行った。演奏会の模様は地元テレビ局で放映され、高評を得た。



写真1 猿沢小学校創立140周年記念「Dr.りえのおしゃれなクラシック」村上市総合文化会館大ホール

<sup>†</sup> Rie HIRAI\*: Practical study on songwriting for school anthem of junior high school  
Keywords: songwriting, school anthem, school chorus, music education

\* Cooperative Faculty of Education, Utsunomiya University  
(連絡先: rie@cc.utsunomiya-u.ac.jp 平井李枝)



写真2 猿沢小学校創立140周年記念合唱記念写真

2014年に村上市立砂山小学校長となった渡邊正夫先生（前猿沢小学校長）から、次年度（2015年）に神林地区5校の小学校での文化庁事業の芸術鑑賞コンサート「Dr.りえのおしゃれなクラシック」の開催を依頼された。

2015年9月、<sup>ひらばやし</sup>平林小学校、<sup>にしかんのう</sup>西神納小学校、神納東小学校、<sup>かんのう</sup>砂山小学校、神納小学校の順に、各学校で「Dr.りえのおしゃれなクラシック」を開催した。ここでは筆者の世界各国のクラシック音楽の名曲および日本歌曲、また郷土の風景を描写した音楽から《砂山》の歌唱指導も行った。

神納小学校での公演は、会場となる体育館の耐震工事のため、学区内の神納中学校長 籠島洋先生のご好意により中学校の体育館で開催することとなった。小学生と一緒に同中学1年生も鑑賞に参加した。その際、籠島校長から次年度、中学生を対象とした「Dr.りえのおしゃれなクラシック」の開催を依頼された。

平林小学校校長からは、同校児童の進学先である平林中学校校歌が平井康三郎の作品であることを教えてもらったため、2016年には平林中学校と神納中学校の2校を連続日程で実施することとなった。



写真3 平林小学校全校児童との記念写真



写真4 西神納小学校全校児童との記念写真



写真5 神納東小学校全校児童との記念写真



写真6 砂山小学校で《砂山》の歌唱指導



写真7 砂山小学校全校児童との記念写真



写真8 神納小学校児童を対象とした公演



写真9 神納小学校・神納中学校1年

2016年9月12日に実施した平林中学校での公演は、創立70周年記念芸術鑑賞コンサートとして開催された。筆者によるピアノとソプラノの演奏に加え、全校生徒と共に校歌を合唱した。土岐善磨作詞・平井康三郎作曲の校歌であった。

歌が大好きな生徒からの拍手がとまらず、学校長廣川乗先生からの依頼で、急遽アンコールは生徒のリクエストに即時応えるスタイルとなった。音楽の先生が届けてくださった合唱曲集から、生徒が歌いたい曲を何曲もリクエストされ、その伴奏を筆者が演奏し、みんなで大合唱することとなった。これは1時間にもおよび、感動的な周年行事となった。

さらに翌日の神納中学校における公演でも、筆者によるピアノとソプラノのコンサートの最後に全校生徒との合唱を披露している。このように小学生や中学生との合唱協演が、神林中学校の校歌作曲に大きく影響している。

2017年9月ごろ、平林中学校長 廣川乗先生より平林中学校閉校記念コンサートおよび新設中学校校歌制作に関する打診があった。筆者が関わる神林地区の新しい中学校とのことで、お引き受けすることにした。同年12月、廣川先生と教育委員会 磯部氏が筆者自宅に訪問くださり、校歌作詞作曲の正式依頼を受けた。この依頼については村上市、村上市教育委員会、神林中学校設置のための委員会の承認を得ている。

2018年10月19日、平林中学校閉校記念コンサートにおいて全校生徒と記念合唱をすることになり、校歌指導を行った。歌が大好きな全校生徒がさらに良い発声で活き活き合唱できるように、発声のコツ、ハーモニーのバランスなどを指導した。

2018年11月4日、平林中学校閉校記念コンサートとして、筆者による「Dr.りえのおしゃれなクラシック」を開催、ピアノやソプラノの名曲を披露した後、全校生徒との合唱協演を行った。村上市長、副市長、国会議員、市議会議員、市議会議員等多数の来賓ご臨席のもと行ったコンサートは大成功となり、新設中学校の校歌に対する期待も一気に高まったのである。

村上市における公演および校歌制作・合唱指導に関する経緯	
2013年	
10月9日(日)	村上市立猿沢小学校 創立140周年記念 文化庁事業「Dr.りえのおしゃれなクラシック」 会場：村上市総合文化会館大ホール
2015年	
9月9日(水)	村上市立平林小学校 文化庁事業「Dr.りえのおしゃれなクラシック」 会場：平林小学校体育館
9月9日(水)	村上市立西神納小学校 文化庁事業「Dr.りえのおしゃれなクラシック」 会場：西神納小学校体育館
9月10日(木)	村上市立神納東小学校 文化庁事業「Dr.りえのおしゃれなクラシック」 会場：神納東小学校音楽室
9月10日(木)	村上市立砂山小学校 文化庁事業「Dr.りえのおしゃれなクラシック」 会場：砂山小学校体育館
9月11日(金)	村上市立神納小学校 文化庁事業「Dr.りえのおしゃれなクラシック」 会場：神納中学校体育館
2016年	
9月12日(月)	村上市立平林中学校 創立70周年記念芸術鑑賞コンサート 文化庁事業「Dr.りえのおしゃれなクラシック」 会場：平林中学校体育館
9月13日(火)	村上市立神納中学校 文化庁事業「Dr.りえのおしゃれなクラシック」 会場：神納中学校体育館

2017年	
9月	校歌制作の打診
12月	廣川乗校長、村上市教育委員会から 新設中学校の校歌作詞作曲の正式な 依頼 筆者自宅にて
2018年	
10月19日(金)	平林中学校閉校記念式典歌の合唱指導
11月4日(日)	村上市立平林中学校閉校記念式典 コンサート 会場：平林中学校体育館
2019年	
1月24日(木)	平林中学校1.2年生への神林中学校 校歌指導
1月25日(金)	神納中学校1.2年生への神林中学校 校歌指導 神林中学校 新入生保護者説明会に おいて、校歌について講演
3月18日(月)	神林中学校校歌の合同練習 会場：神納中学校体育館
4月27日(土) 午前	神林中学校 校歌および合唱指導 会場：神林中学校体育館
4月27日(土) 午後	村上市立神林中学校開校記念式典 「校歌発表」 「校歌」《オレンジの風》 会場：神林中学校体育館
2020年	
2月17日(月)	神林中学校 合唱指導
3月1日(日)	令和改元記念講演会・ピアノ・ソ プラノコンサート「小和田恆氏講演会・ 平井李枝ピアノ・ソプラノコンサ ート～世界を知る・日本を知る～」 村上市ふれあいセンター大ホールに て校歌および《オレンジの風》披露 会場：村上市ふれあいセンター大 ホール 【新型コロナウイルス感染症の拡大 により延期】
2022年	
	神林中学校 文化庁事業文化芸術に よる子供育成総合事業芸術家の派遣 事業 「Dr.りえのおしゃれなクラシック～ 世界を知る・日本を知る～」 3回公演（採択済み）



写真10 平林中学校創立70周年記念コンサート



写真11 平林中学校創立70周年記念コンサート



写真12 神納中学校全校生徒との合唱(ピアノ筆者)



写真13 神納中学校全校生徒との記念写真



写真14 平林中学校閉校記念コンサートのための  
合唱指導



写真15 平林中学校閉校記念コンサート 記念合唱



写真16 平林中学校閉校記念コンサート 記念写真

### 3. 村上市立神林中学校について

2019年4月1日開校

村上市立平林中学校と神納中学校が統合され、新設された中学校である。校舎は神納中学校が引き継がれた。生徒は、神林地区の平林小学校、砂山小学校、神納小学校、西神納小学校、神納東小学校の5校からの進学している。学区が広いので、自転車やスクールバスによる通学となっている。

2022年現在、5校の小学校は統合され2校となっている。

### 4. 校歌の歌詞について

神林中学校の校歌の作詞にあたって、平林中学校長 廣川先生、神納中学校長 網信行先生のご協力のもと、全校生徒から、自分たちが誇る学区のキーワードを募集した。そしてキーワードを参考に、筆者自身が村上の街を探索し印象に残る情景を歌詞とすることにした。

自然豊かで美しい四季折々の情景と教育目標「学ぶ心 思う心 挑む心」、学校と生徒の皆さんに込める期待などを加え、3番までの歌詞を制作した。

1番は春から初夏にかけての情景をあらわしている。桜が咲き誇る学区の情景、日本海に面する松林、そして歌が大好きな生徒の様子を歌詞に込めた。

校歌を歌いながら中学校の「教育目標」を学べる

よう中間部に「学ぶ心 思う心 挑む心」を配置し、二つの中学校が統合された歴史を感じさせる歌詞につないだ。そして、平成から令和へと時代が変わる時に誕生する新しい中学校が前を向いて世界にはばたくよう、推進力にあふれる歌詞とした。教育目標以降の歌詞は3番まで同一である。

2番は夏から秋にかけての情景である。豊かな自然にはぐくまれる蛍や白百合、夜空には天の川が輝く様子、村上の名産であるイヨボヤ（鮭）が遡上する荒川、コシヒカリの産地である学区の情景をあらわした。

3番は冬の情景である。白鳥が飛来する大池、朝日にきらめくダイヤモンドダスト、夕映えの日本海などをあらわした。



写真17 稲穂の大地



写真18 大池に飛来する白鳥

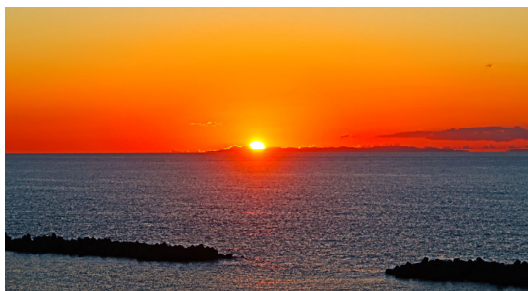


写真19 日本海に沈む夕日

新潟県村上市立神林中学校

校歌

作詞 平井李枝

作曲 平井李枝

1. 桜<sup>きはらぎ</sup> 木原木 松林

青空遠く 澄みわたり

清き歌声 高らかに

学びの里に こだまする

「学ぶ心 思う心 挑む心」

ふるさとの誇りを 受け継いで

今 動き出そう 今 走り出そう

手を取り合って 明日をつくろう

今 飛び立とう 今 羽ばたこう

わが 神林中学校

2. 蛍 白百合 天の川

希望の風も さわやかに

豊かに流る 荒川と

稲穂<sup>いなほ</sup>の大地を 通りゆく

「学ぶ心 思う心 挑む心」

ふるさとの誇りを 受け継いで

今 動き出そう 今 走り出そう

手を取り合って 明日をつくろう

今 飛び立とう 今 羽ばたこう

わが 神林中学校

3. 白鳥<sup>おおいけ</sup> 大池 日本海

朝日きらめく 粉雪や

輝く夕陽 あざやかに

新たな歴史を 映し出す

「学ぶ心 思う心 挑む心」

ふるさとの誇りを 受け継いで

今 動き出そう 今 走り出そう

手を取り合って 明日をつくろう

今 飛び立とう 今 羽ばたこう

わが 神林中学校

5. 校歌の合唱作曲法について

神林中学校の校歌は、校歌としては珍しい合唱作曲法を用いている。

それは、中学生男子生徒たちの声を発端としている。

「僕たちはどうしていつもハモリばかりなんだろう」

「男だけで歌っても、下のパートばかりだからつまらないんだよね」

「男子もメロディー歌いたい」

「女子ばかり良いパートを歌えてずるい」

「大きな声で歌いたい」

「いい声で体育館を満たしたい」

「思いっきりメロディーを歌いたい！」

これまで述べてきた通り、筆者は神林地区の小中学校と長年かかわりを持っており、子供たちと合唱する機会が多かった。中学生男子は変声期を迎え音域が低くなるため、混声合唱では低音部として音楽の支えとなるパートを担うことが多い。実際、平林中学校や神納中学校の生徒たちが好んで合唱していた曲も、男声はほとんどが副旋律：いわゆる「ハモリのパート」であった。歌の好きな男子が集まって、自発的に合唱する際に、全員で男声パートを熱唱することになり、メロディーが欠けていて何の曲かよくわからないのが不満ということであった。自分のパートをあまりに熱心に練習するあまり、そのパートしか歌えないことが中学生の実情である。

そこで、新しい中学校の校歌は、どの生徒も主役となって合唱に参加できるような、新しい形態の楽曲を制作することにした。

●楽曲の構成

神林中学校 校歌 作曲：平井李枝

へ長調 4分の4拍子 アウフタクト1拍

メトロノーム ♩=120ca.

全52小節 3番まで繰り返す

女声：ソプラノ、アルト

男声



小節	構成	1番	2番以降
1～8	前奏		
9～24 (16小節)	㊦	斉唱	斉唱
25～32	㊧教育目標	斉唱	ソプラノ： オブリガート アルト 男声：主旋律
33～48	㊨(サビ)	女声： ソプラノ アルト 男声： 主旋律	ソプラノ (カノン+オブリガート) アルト男声 主旋律
49～52	間奏(後奏)		

楽曲の特徴として、1番と2番以降の合唱形態が異なっていることが挙げられる。

1番の構成は以下の通りである。

1～8小節はピアノによる前奏となっている。アウフタクト1拍から始まる前奏の旋律は、33小節からの㊨の音楽的要素(モチーフ)から派生している。

9小節のアウフタクトから始まる㊦は全校生徒による斉唱となっている。これはスケールの大きな歌声を会場いっぱいに響かせる狙いがある。

25～32小節は㊧。前半4小節は教育目標をはっきりと歌い、後半は㊨へとつなぐために楽曲を盛り上げる役を担っている。

33小節のアウフタクトから48小節は㊨である。この部分は、楽曲で最も必要な、いわゆる「サビ」にあたる。中学生が未来に向かって動き出し、走り出し、羽ばたいていく様子を白鳥の飛び立つ様子に重ねて、躍動感あるメロディーにした。これまで斉唱であったが、ここからは主旋律の下に1パート加え、2部合唱とした。女声のアルトが下のパートを担当する。

合唱の後、ピアノによる4小節の間奏がある。この間奏は㊨の最後4小節間をモチーフに作曲している。

2番以降の構成は以下の通りである。

㊦は1番と同様に全校生徒による斉唱である。

㊧は主旋律を女声のアルトと男声が担当する。ソプラノは、2番から新たに付加されるオブリガートを担当する。オブリガートはAh～となっており、

美しい歌声で発声することができる。オクターヴで主旋律を歌い、その上にソプラノが加わることで、立体感のある合唱が実現できる。

㊨は2番から混声三部合唱のカノンとなる。主旋律は男声を担当。主旋律の下のパートは女声のアルトを担当する。ソプラノは2番から付加された新たなパートを担当する。これはカノンとリフレインで作曲している。主旋律から2拍遅れで追いかけるカノンを4小節。そのあと4小節はオブリガートである。其の後は2拍遅れのカノンを4小節、最後の「神林中学校」の歌詞では最上声部となる。

2番からの㊨はカノンとすることで、楽曲に更なる推進力を生み出し、今まさに飛び立とうとする白鳥のように力強く未来に向かって進む中学生への期待を込めている。

合唱の形態は学校の実情に合わせて臨機応変にパートを決められるようになっており、女声のみ、男声のみによる合唱も美しい響きとなるよう作曲している。

## 6. 開校記念式典における校歌発表に向けて

2019年1月24日(木) 平林中学校1・2年生を対象に、新しい神林中学校の校歌について解説と指導を行った。翌1月25日(金) 神納中学校1・2年生を対象に神林中学校校歌の解説と指導を行った。どちらの中学校でも新しい校歌は大好評であり、練習が終わってもサビの部分を楽しそうに歌っていたため、校長先生から、先輩である3年生に配慮して控えめにしようとのことのお達しが出たほどである。

1月25日午後に神納中学校で行われた神林中学校新入生保護者説明会において、校歌について講演を行った。

3月18日(月) 神納中学校体育館に平林中学校および神納中学校の1・2年生が集合し、神林中学校の合同校歌練習を行った。また式典での記念合唱として、平井李枝作詞作曲《オレンジの風》の合唱指導も行った。

4月27日(土) 午前中、神林中学校において全学年を対象に合唱の指導およびリハーサルを行った。ここでは新入生も加わり、スケールの大きい合唱を実現できるようになった。



写真20 校歌指導 平林中学校



写真21 神納中学校 平林中学校合同練習

## 7. 開校記念式典における校歌発表

2021年4月27日（土）に行われた神林中学校開校記念式典では、校歌の発表に先駆けて、村上市長高橋邦芳氏より筆者に感謝状が授与された。校歌は村上市を代表する書家により浄書され、体育館に掲示された。校章は沼澤茂美氏の作品である。

記念式典での校歌披露は、まず筆者が校歌の制作について思いを述べた後、全校生徒とともに楽曲を披露した。指揮は筆者が担当し、伴奏は在校生が行った。その後記念合唱として平井李枝作詞作曲《オレンジの風》を合唱した。指揮、伴奏はともに在校生が担当し、筆者の独唱と全校生徒による合唱を行った。

神林中学校の全校生徒による校歌および記念合唱は大変な評判を呼び、新たな時代の幕開けにふさわしい歌声に溢れた式典は大成功となった。

## 8. おわりに

神林中学校の校歌は地元テレビ局で放映され、楽曲の持つ推進力と素晴らしい合唱が大きな話題となった。村上市長、中学校、教育委員会との協議により、全校生徒による合唱を村上全市民に披露した

いと考え、筆者による令和改元記念の特別講演会ピアノ・ソプラノコンサートで、村上全市民に向けて披露することとなった。コンサートに向けて合唱指導を行っていたが、2020年初頭から流行した新型コロナウイルス感染症の拡大によって、開催2日前に延期が決定し、実現ができなかった。

校歌は学校が続く限り歌い続けられるものである。在校生が1つにまとまるだけでなく、卒業生、同窓生にとってもかけがえのない絆を生み出す特別な楽曲である。新しいスタイルの校歌の作曲は、極めて挑戦的ではあったが、全校生徒に愛され、また地域の方々に愛され、学校を象徴する作品に仕上がった。

今後も中学校の発展を見守るとともに、音楽的な支援を続けていきたいと考えている。



写真22 神林中学校 開校記念式典



写真23 神林中学校 開校記念式典 校歌披露（指揮：筆者）



写真24 村上市長 高橋邦芳氏から感謝状を授与される

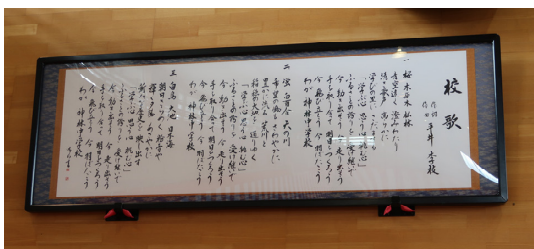


写真25 体育館に掲げられた校歌の歌詞  
(書：鈴木俊一氏)



写真26 全校生徒との記念写真(2019年4月27日)

## 謝辞

村上市との最初のご縁をくださった渡邊正夫先生、神納中学校校長 籠島洋先生、平林中学校校長 廣川乗先生、教頭 齋藤望先生、神納中学校および神林中学校初代校長 網信行先生、平林中学校教頭および神林中学校教頭 木村博先生、音楽教諭 本保三帆子先生、伊藤理華先生、平林小学校からのご縁をつないでくださった平山秀俊先生、高橋邦芳村上市長、忠聡副市長、村上市教育委員会神林教育事務所 布川真由美様、教育委員会の皆様、市役所の皆様、市議会議員の皆様、平井康三郎の校歌についてお話くださった川崎悌吉様、児童生徒の皆様、保護者の皆様、子供たちと筆者の関りについてその

都度報道してくださった地元テレビ局、新聞社の皆様、そして新しい中学校の創立に期待してくださった村上市民の皆様へ感謝申し上げます。

令和4年4月1日 受理

# 新潟県村上市立神林中学校 校歌

作詞 ひらい りえ  
作曲 平井 李枝

明るくさわやかに ♩=120 ca.

Piano *mf*

Chords: F, F7/Eb, Bb/D, G7/Db, F/C, D7, Gm7

8 **A** *mf*

1. さく ら きはら ぎ ま ー つ ぼ や し あ おぞらとお く す み わ た  
2. ほた る しらゆ り あ ー ま の が わ き ぼ う の か ぜ も さ わ や か  
3. はく ち ー ー お お い け に ー ほ ん か い あ さ ひ き ら め く こ な ゆ き

8 **A** *mp*

Chords: Bb/C, F, F7, Bb, F/A, Bb, A7, Dm, G7

*simile*

16

り き よ き う た ご え た ー か ら か に ま な ひ の さ と ー に こ だ ま す る  
に ゆ た か に な が る あ ー ら か わ と い な ほ の だ い ち を と お り ゆ く  
や か が や く ゆ う ひ あ ー ざ や か に あ ら た な れ き し を う つ し だ す

16 *C* *F* *F7* *Bb* *Am* *D7(b9)* *Gm* *C7* *F* *D7* *Gm* *C7* *F*

**B** 教育目標

25 *mf*

ま な ぶ こ こ ろ お も う こ こ ろ い ど む こ こ ろ ふ る さ と の ほ こ り を う け つ ー い

**B** *mp*

2番から加える

Ah Ah Ah Ah Ah Ah Ah Ah Ah Ah

**B**

25 *Dm* *Am* *Bb7* *C7* *F* *Gm7* *C7* *F* *Dm* *E7*

Copyright: 2019 Dr.Rie HIRAI

□力強く

32 *f*

で い ま う ご き だ そ う い ま は し り だ そ う て を と り あ っ て あ す を つ く

2番から加える

□ *f*

Ah い ま う ご き だ そ う い ま は し り だ そ う Ah Ah Ah

32 Am C7 F Em7 A7/E Dm Cm F7 B♭ C/B♭ Am D7 G7

*f*

40 *ff*

る う い ま と び た と う - い ま は ば た こ う - わ が か み は や し

2番から加える

Ah い ま と び た と う - い ま は ば た こ う - Ah か み は や し

40 C7 F Em7 A7/E Dm Cm F7 B♭ C/B♭ Am D7

*f*

47

ち ゅ う が っ こ う

2番から加える

ち ゅ う が っ こ う

47 Gm C7 F B♭ Am D7 Gm C7 F

*f*

(3番のみrit.)





Practical study on songwriting  
for school anthem of junior high school

Rie HIRAI